

乳児の遊びと道具



身体機能練習遊び
(運動発達)







こどもは必要な発達を自分で遊びを選び取る。



自分で歩くまで大人が無理に歩かせないことが大切。











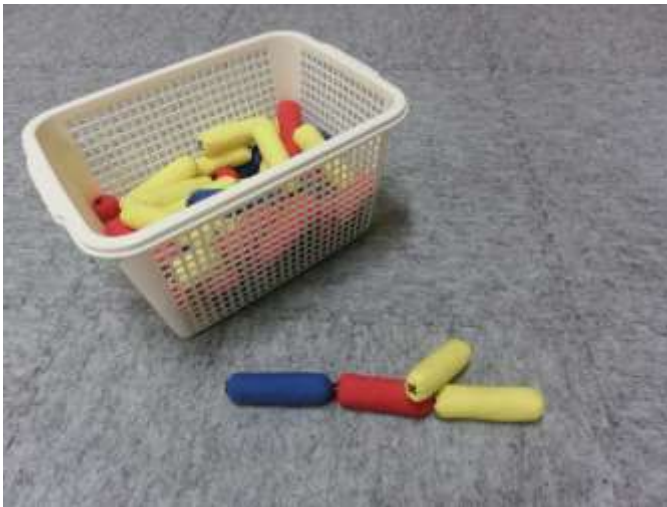




















一人で邪魔されずに遊ぶ空間が保障されたり、友達と一緒にいるだけで、楽しいと感じる子どももいる。





目と手同じ形のものが入る。何回も試しているうちに偶然はいる。問題解決遊び。

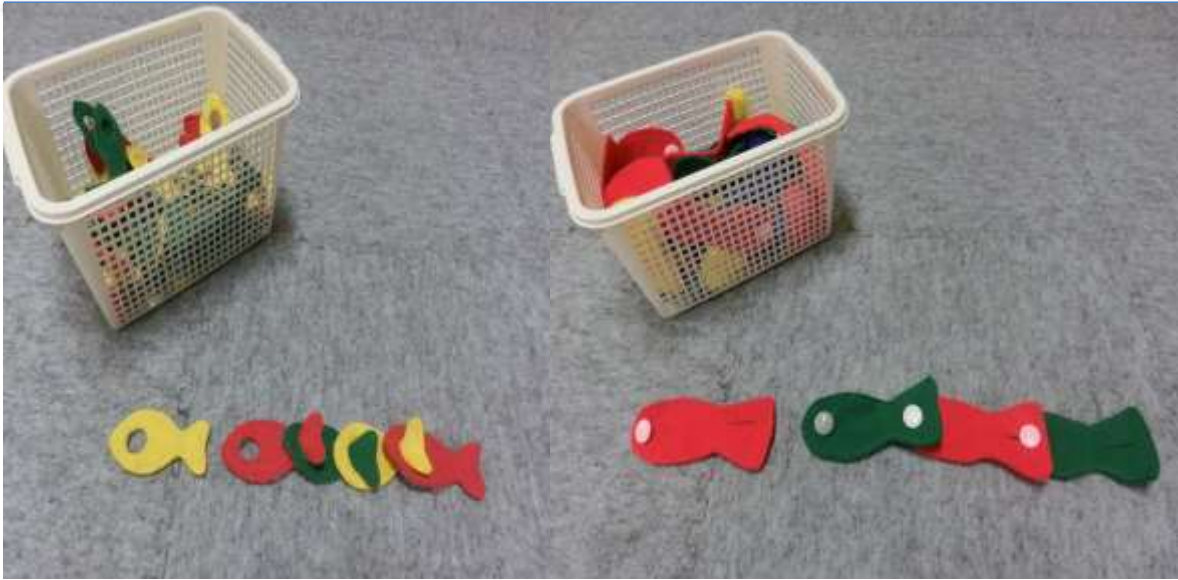


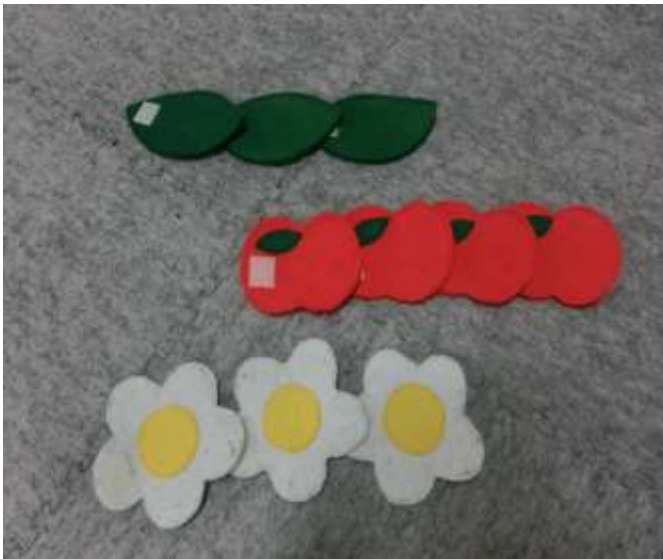






ぬいぐるみ・人形は子どもにとって、なくてはならないおもちゃです。このあそびから見ても分かるように、自分でない人格になれるからです。





















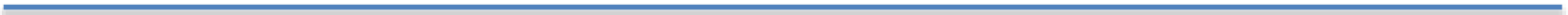


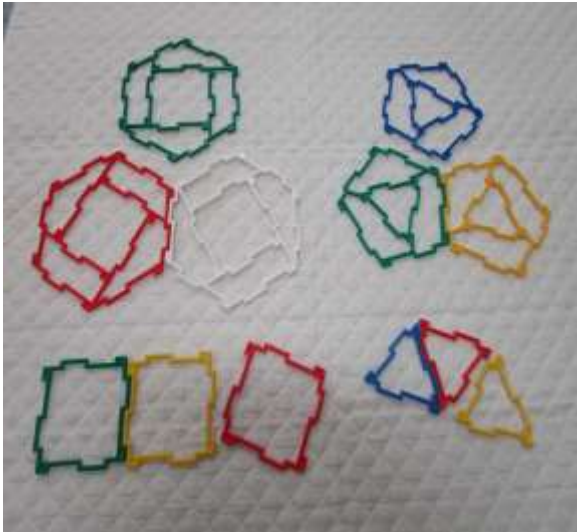












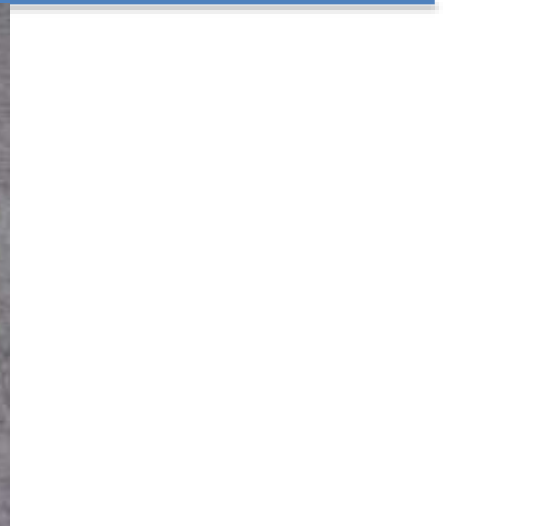




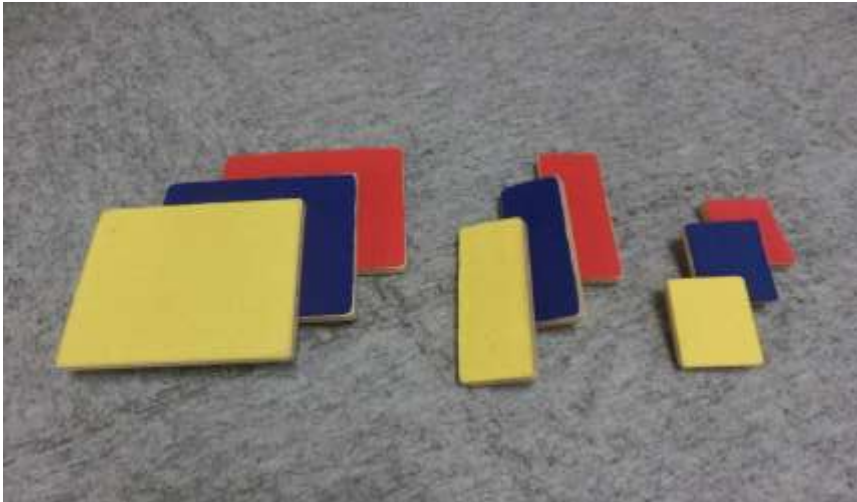






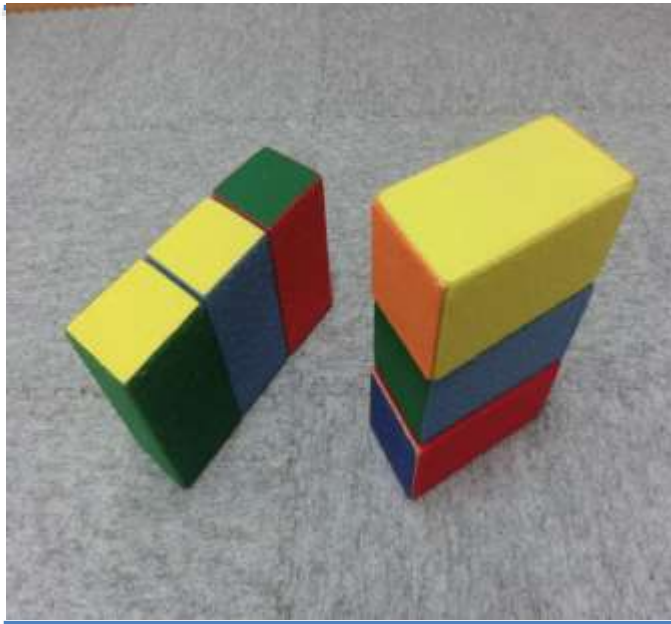


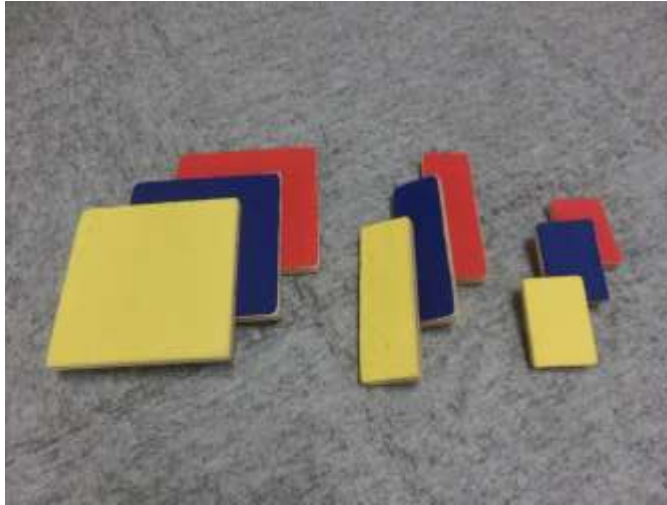














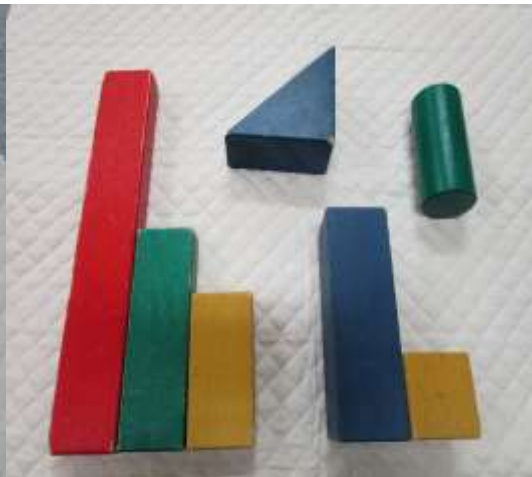




















コルクの積木
安全できれいな色です。

















二の道具は























おもちゃを投げたり、たたいたりする子どもが、時々いますが、禁止するのではなく、ここでなら、投げられるよと場所を決めてあげる事もある。













病院にいったお家で看病する。看病だけの遊びを楽しんでいる子どももいる。子どもをつれて病院に行く。人形や、ぬいぐるみとお友達と役遊びができるのは、2歳を過ぎてからですね。

